



でこぼこな島?

八月一三日(火)、天候は曇。知人の島の方にお世話になり、雄山林道付近を散策することにした。午前中、だんだんと陽射しが強くなつていて、なんとか坪田を出発し、火の山峠や七島展望台、牧場跡などを回った。海水の温度が高いうことで海面上に靄がかかり、そこからみる景色は残念ながら絶景とはならなかつたが、何に邪魔されることなく

美しい景色をひとり占めできたことは、私を晴れやかな気持ちにさせてくれた。三宅島に来るといつも、青い空を見上げ、それから溶岩がつくりだすゴツゴツとした岩肌を遠くに望む。どこまでも三宅島の自然は美しいと思う。しかし今回の散策で見た三宅島は少し違っていた。散策の途中、ところどころ適当な道中で車を停めそこから島眺めた。でこぼこの舗装されていない道を行つた先にはだいたい、遠くに広がる海と、足元には伸び放題の草たちが生い茂つている。そしてそこから上にも似たような景色が続いている。

私にとって意外であつたのは、その眺めの「見え方」だった。私にとって「上から」の景色というのはなにか特別なものだと思っていた。たとえば展望台に登つて遠くのまちを眺めるように、あるいは何十メートルも下、すぐ真下に見える人間や車の小ささに驚くよう、ある種の感動や驚きがそこにはあ

ると思い込んでいた。しかし、ここでは違つていたのだ。私の見たものは、ざつくりといえば似た景色の連続であり、私の期待していた、一周道路が輪を描いてみえる、だとか家一軒一軒の様子をはつきりと目にとらえることができるというのは難しいことであつた。見えそうなのに見えない、見たいのに見られないそんなもどかしさに、どこか三宅島ではないようにも感じ、もやもやとした気持ちが残つた。

しかしそく考えてみれば納得。私の想像していた景色はすべて上空から見下ろすものに限られていたのだ。それに対し、もちろん島はきれいな円錐ではないから急勾配もあれば緩やかにつづく道もある。東京タワーやスカイツリーとは違うから上下の視野の範囲も異なる。それににしてる山頂ではないから三六〇度見えるわけでもないのだ。むしろ、もしかしたら自然のなかではそれが叶う場所は少ないかもしません。また私の想つていた景色こそが、工的なものであつたのだと気がついた。

都会の景色に見慣れ、かたくなつてしまつた頭に、また少し刺激をもらつた。

(新飼麻友)



2013年
(平成25年)
8月15日
木曜日

あしたばん編集部
発行所: 加藤文俊研究室
info@ashitaban.net
http://ashitaban.net/

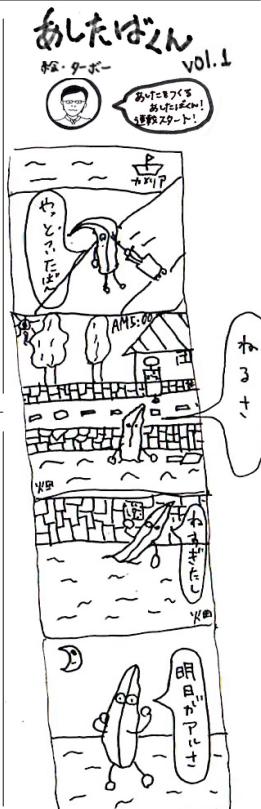
四十号特別号

三宅島を歩いて
一周しよう!

八月一日の早朝四時四〇分。私と加藤文俊研究室OBの森部は、朝焼け広がる坪田地区を出発した。島の周囲は約三十二キロ。猛暑が続いていたなかでの島歩きは、周囲の人からは「絶対無理だよ」と言われてしまふほど無謀な試みだつたようだ。しかし、それでも「島を歩く」ことは、私にとってどうしても実行したかったことだつたのだ。

私は、初めて三宅島を訪れてから約二年と半年が経とうとしている。島の地理も把握し、知つている人も増えてきた。だからこそ、三宅島に「慣れた」感覚を持つてゐる自分がいた。しかし、島の地図を見てみると、サタドー岬に牛乳せんべいの店にも行ったことがない。ここには、まだまだ知らない人や広がる景色、場所がある。知らない三宅島がもつと見たい、という好奇心が私を突き動かしていた。

実際に歩いてみると、やはり車での移動では見過ごしがちな小道や建物を見ることができた。昇るごとに赤みを増していく朝日も目にできた。しかし、その充実感以上に、歩いているときに声をかけてくれる人や、手を振つてくれる人がいたという嬉しさで胸がいっぱいだつた。



対

談

数年後に会えたんだと思うとつながつてい
る感じがする

「あしたばんってどう広がつているの?
上地..それにしても四十枚つて結構な枚数
だよね」

「三宅島大学。あしたばん四〇号記念として、
創刊号制作に携わった加藤文俊研究室のメン
バーで対談をしました。(メンバー・加藤先生、
上地、新飼、長富、森部、吉田)

メンバーが入れ替わりながらも三年目に入つ
た三宅島大学。あしたばん四〇号記念として、
創刊号制作に携わった加藤文俊研究室のメン
バーで対談をしました。(メンバー・加藤先生、
上地、新飼、長富、森部、吉田)

* * *

「これまでをふりかえつて、一番の思い出や
印象深い記事は?」

上地..初期は三宅島を全く知らないなかで「自
由にいってこい!」と出されたぶん、バスで
島をめぐつたりとか、ヒッチハイクをした
りだとか結構無謀なこともやつていたよね。
船上や岩場で突然インタビューするなんてこ
とも…

森部..ありましたね、伊ヶ谷の海岸で!

上地..そうそう。それでまたその人に別の場
所で会つて「あの記事よかつたよ。嬉しかつ
たよ。」なんて言つてもうれたりもしてね
森部..そういうの嬉しいですよね。他にも、
にがつたけをたくさんもらつたこともあります
したね

長富..あつたあつた!

吉田..にがつたけが好きつて記事に書いたら
差し入れをいたいたんですね

新飼..うん。他にも、昔の記事を読み返して
いてキツズリサーチに来てくれる子供た
ちの写真が出ているのを見つけるとすごく嬉
しくなりますね

森部..そう!全然知らずに載せていたけれど、
長富..あつたあつた!



しているのではないかと思います
森部..知人が載ついたら少しびっくりし
ますよね、三宅島のサイズだからこそ起
りうるのかな

「最近のあしたばんをどう思う?」

上地..初めは弾丸が多くつたこともあり、
印象的でおもしろかった気がある

加藤..たぶんそれは僕も似ていて、もしか
したら最近あんまりおもしろくないのかも
しない。安定はしてきて、来ると必
ずつくるでしょ。このあいだも三人でやつ
ていて、少人数でもきちんと出せるようにな
つたことはすごいんだけど、そのぶん突

加藤..そうだね、あとどのくらい読まれて
いるかっていうのも大事だよね

上地..いまも商店とか民宿に、地道に配つ
ているの?

長富..そうですね、商店の店員さんを通じ
ては評価をいたしたりします。でも正確
にどれくらい読まれているかというのによ
くわからないんですね。場所によつては

すぐになくなるところもあるし、あとではイ
ンタビューをした時に「あ、見たことある」
「このまえ私のおばが載つていたよ」という

反応もありました。そういう意味では浸透

長富..僕も最初のころ、先輩とふたりで三
宅高校に取材に行つたことありました。本

当に突撃だつたんですけど一時間くらい時
間を割いていただいて。いま思うと失礼な

ことをしたかなと思いますが、とてもあり
がたかつたです

長富..僕も最初のころ、先輩とふたりで三
宅高校に取材に行つたことありました。本

当に突撃だつたんですけど一時間くらい時
間を割いていただいて。いま思うと失礼な

ことをしたかなと思いますが、とてもあり
がたかつたです

「これからあしたばんは?」

加藤..型にはまりすぎてしまつてているとこ
ろがあるからね、なんとなく。思い切つて
紙面リニューアルとか。横書きとか4ペー
ジになるとかどう?

吉田..それはおもしろいですね

加藤..あるいはこれを廃刊にして全く新し
いものにつくりかえるとか…?でも五〇号
までいきたいよね

長富..そうですね。これを楽しみにしてく
れる人のためにもう少し続けたいです

吉田..はい、私も頑張ります!
まさかの廃刊予告?!

いいえ、あしたばんはまだまだ続きます!こ
からもよろしくお願ひします。

「あしたばん」イチメン記事一覧

これまでにあしたばんで書かれた記事です。
気になったものがあればぜひ選んでみてください! ▶

あしたばん



- 【第1号】2011/6/19 始動、三宅島大学!
- 【第2号】2011/6/19 ぐるり一周
- 【第3号】2011/6/20 水中スケッチャ大会行われる
- 【第4号】2011/6/21 二時間/三年間にかける思い
- 【号外】2011/6/21 あしたばん制作の裏側に迫る
- 【第5号】2011/6/22 たくさんのありがとうございます
- 【第6号】2011/7/18 お待たせしました!
- 【第7号】2011/7/25 まだ見ぬ三宅島を想う
- 【号外】2011/8/1 KAITEKIのかたちは
- 【第8号】2011/8/8 富賀神社大祭、始まる
- 【第9号】2011/8/15 富賀神社大祭での各地区の受け渡し
- 【第10号】2011/8/22 三宅島大学、開校日決定!!
- 【第11号】2011/8/29 火の山からの挑戦状
- 【第12号】2011/9/19 いよいよ、三宅島大学開校!

- 【第12号】2011/9/19 いよいよ、三宅島大学開校!
- 【第13号】2011/9/21 “いよいよ”が響き続けるように
- 【第14号】2011/9/22 キックオフのあと、考えた。
- 【号外】2011/9/26 東京都に実家ができました。
- 【第15号】2011/9/26 ポスター完成!
- 【第16号】2011/11/14 応援旗にこめられた想い
- 【第17号】2011/11/28 三宅島大学、十二月講座
- 【第18号】2011/12/2 ポスター完成!!
- 【第19号】2011/12/5 甘い香りと笑い声につづまれて
- 【20号特別号】2011/1/31 「あしたばんBOOKs」誕生
- 【第21号】2012/3/3 レディースパワー溢れる!
- 【第22号】2012/6/22 今年もやります、伝えます!
- 【第23号】2012/6/23 手作り手渡しのかわら版
- 【第24号】2012/6/24 三宅島は「ジャストサイズ」
- 【第25号】2012/7/31 築穴パン屋の『つぶやき便』!
- 【第26号】2012/8/9 三宅島大学を考える手引き
- 【第27号】2012/8/19 キッズリサーチ始まる!
- 【夏休み特別号】2011/8/23 「三宅島のすきなところ」
- 【第28号】2012/8/25 子どもたちの力作刷り
- 【第29号】2012/9/14 キッズリサーチ、一日復活!
- 【第30号】2012/9/17 会話が生まれるポスター作り
- 【第31号】2012/10/2 そこでやめるな最後まで…
- 【第32号】2012/11/3 女将さんポスター取材完了
- 【第33号】2012/11/4 ゲイジユツの秋
- 【第34号】2013/1/25 想いは強く、そして優しく。
- 【第35号】2013/6/21 入を繋げる「若大将」
- 【第36号】2013/6/22 おかげさまで、三年目。
- 【第37号】2013/6/23 暮らしを映しだす、ポスターを
- 【第38号】2013/7/28 やってきた、夏の風物詩
- 【第39号】2013/8/11 富賀神社大祭、集まる熱気